

標茶町学力テストを実施します

～学習の充実、学力の確実な定着、生きる力の形成に向けて～



12月5日(木)・6日(金)実施



標茶町では、子どもたちが生き生きと学習に取り組み、「わかった」「できた」という喜びを感じることができるよう学校への支援を進めています。そのため、平成24年度より「標茶町学力サポートプラン」として学力調査・生活学習意識調査を実施しています。

Q&A



なぜ学力調査を実施するのですか？

- ◆子どもたちの学力の状況を的確にとらえ、その子の実態に応じた指導の工夫や改善に役立てるためです
- ◆一人一人の学習や生活の状況を家庭に伝えることにより、学校と家庭が子どもの学習や生活の状況や課題を共有し、連携協力して取り組むためです
- ◆自らの学習や生活の状況を客観的に捉えることにより、子どもたちが主体的に学ぼうとする姿勢を育むためです



どんなことをやるのですか？

- ◆町内全小中学校で学力調査を実施し、家庭にも結果をお知らせします

★対象～小学校全学年、中学校1、2年 ※範囲はその学年の11月末までです

★実施日…12月5日(木)・6日(金)

★実施教科…小学校1～2年 国語、算数

小学校3～4年 国語、社会、算数、理科

小学校5～6年 国語、社会、算数、理科、英語

中学校1～2年 国語、社会、数学、理科、英語

※中学3年生は実施しません



- ◆総合質問紙調査 (i-check) を実施し、学習改善に役立ってます

★対象～小学校1～6年、中学校1～3年

★実施日…12月5日(木)・6日(金)

★生活や学習習慣、学級での人間関係などと学力との関連もわかり、学習・生活上の課題の発見や改善にも役立ちます

- ◆問題シートを学校に配布し、その後の学習に役立ってます

★弱点克服のための著作権フリーの問題用紙を用い、家庭学習や補充学習等その後の学習で使用できるようにします

学習指導要領の改訂に伴い、令和2年度から小学校5～6年生で「英語」が追加されました。

平成25年度から「経年変化分析」を取り入れました。

昨年の自分と比べてどれくらい伸びたかがわかります！



どんな勉強をするといいいのですか？

テストの範囲はすべて学校で学んだ内容です

1 学校の勉強をしっかり頑張りましょう

2 宿題や家庭学習に取り組みましょう

くわしい方法は学校ごとに指導されています。



家庭学習のきまり

- (1) 毎日必ず学習する。(時間ややることを決める)
- (2) テレビや音楽を消したり、机の上をきれいにしたりする。
- (3) 学校の宿題を最初にする。
- (4) 毎日、短い時間でも読書をする。
- (5) 勉強が終わったら、次の日の準備をする。

家庭学習における家庭の役割

1 学習環境を整えてあげましょう

2 努力を認め、ほめてあげましょう

3 子どもの家庭学習に意識してかわりましょう



小学校低学年

勉強する楽しさを実感させましょう

- ◇ 当たり前のこととして家庭学習を位置付け、基本的な生活習慣を確立しましょう。
- ◇ 学校からのプリント等は必ず目を通して、子どもと一緒に時間割を確かめましょう。
- ◇ 小さながんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけましょう。
- ◇ 一緒に勉強ができないときには、宿題等に目を通しておき、後で声をかけましょう。



小学校高学年

見届け・励まし、自主性を伸ばしましょう

- ◇ まわりの子どもとの比較ではなく、昨日のわが子と比べてほめましょう。叱ってばかりはやる気が喪失します。
- ◇ 返却されたテストや学習プリントなどの整理を心がかせましょう。
- ◇ 自分で計画を立てて、学習を進めることができるよう見届けましょう。
- ◇ 社会の動き(ニュースなど)に興味を持たせましょう。



小学校中学年

認めてほめて、やる気を引き出しましょう

- ◇ 机の上や用具の片付けを徹底させましょう。
- ◇ とくどき、子どもと一緒に勉強をしてみましょう。
- ◇ 質問してきたときは、きちんと向き合しましょう。
- ◇ やったことを認めてあげましょう。
認められることで次に挑戦する気持ちや、やればできるという気持ちが育ちます。

中学生

生活リズムと学習習慣を身に付けさせましょう

- ◇ 生活時間の有効な使い方を話し合しましょう。
- ◇ 家族でも、話をしないとお互いの気持ちは伝わりません。進路や将来の希望などについて、話ができる時間をもてるように意識しましょう。
- ◇ 気分が不安定で、苛立ったり反抗したりもしますが、家族の気遣いが大変うれしいときもあります。共感しながらじっくり話を聞いて励まし続けましょう！

